

はたちの献血キャンペーン

毎年1・2月は「はたちの献血キャンペーン」として、「はたち」の若者を中心に広く県民の皆さんに献血を呼び掛けています。

冬は献血者が減り輸血用血液が不足しやすい季節です。みんなで協力して献血の輪を広げましょう！

誰かの今をつないでいく。

はたちの献血



問合せ 保健総務係

2月の休日在宅医・当番薬局

受付時間：午前9時～午後5時

日		医療機関名	電話番号	薬局名	電話番号	
1	(日)	万江病院	22-2357	さくら調剤薬局瓦屋店	22-1677	
		増田クリニック小児科	22-3570	五日町薬局	23-6228	
8	(日)	三浦整形外科医院	22-3401	ファーコス薬局多良木いちご	42-6888	
		公立多良木病院小児科	42-2560	山口薬局	42-2123	
11	(水)	光永医院	22-2366	エスエス堂薬局瓦屋店	22-6550	
		人吉医療センター小児科	22-2191	さくら調剤薬局医療センター前店	32-9657	
15	(日)	みなみ眼科	22-6820	エスエス堂きりん本町薬局	45-6330	
		やまむら小児科・内科	45-0005			
22	(日)	みのだ内科循環器科	28-3111	さくら調剤薬局西間店	22-8850	
		たかはし小児科内科医院	24-2222	たんぼぼ薬局	23-6170	
23	(月)	あいだ診療所	25-1651	五日町薬局	23-6228	
		増田クリニック小児科	22-3570			
救急病院						
外山胃腸病院		22-3221	球磨病院	22-3121	愛生記念病院	22-6878

※広報ひとよし12月号（1196号）に掲載した1月18日(日)の当番薬局はエスエス堂城本店（☎22-0337）、たんぼぼ薬局（☎23-6170）の2カ所です。

※受診前に病院に連絡してください。

※変更になることがあります。病院に連絡がつかない場合は、市ホームページをご覧ください。市役所（☎22-2111）にご確認ください。（日曜・祝日対応可）



▲詳しくはこちら

熊本県救急安心センター（24時間365日受付）

☎#7119（15歳以上）

熊本県子ども医療電話相談（平日：午後7時～翌朝8時、土曜は午後3時～、日曜・祝日は午前8時～）

☎#8000（15歳未満）

市民健診（特定健診）を受けなきゃ分らない！ 自分の体のこと

代えの利かないあなたの体のために毎年健診は受けましょう。

なぜ健診が必要なの？ 保健師が答えます！



健診を受けることで何が分かるの？

若くて元気な人が受ける必要はある？

自分の体の中がどのような状態なのかを知ることができます。特に、生活習慣病は自覚症状がほとんどなく進行し、大きな病気の原因につながります

元気な人も、治療中の人も全員、1年に1回は健診で体の状態を確認しましょう



⚠️要注意⚠️ 本市は、全国と比べてメタボリックシンドローム※の人が多い状況です

健診でここを確認！

特定健診を受けることで、体内の「隠れたリスク」が分かります。

✓内臓脂肪のチェック：腹囲を測定することで、内臓脂肪が多くついていないかを判断します。

✓動脈硬化のリスク：血液検査や血圧のデータから、動脈硬化のリスクを知ることができます。

✓脂肪肝のチェック：腹部超音波検診を併せて受けることで、脂肪肝を調べることができます。脂肪肝はメタボリックシンドロームの始まりとも言われています。

※メタボリックシンドロームとは……内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質異常が合わさった状態

生活習慣病進行の仕組み

内臓脂肪は、悪い物質を出し、動脈硬化を進行させます。

内臓脂肪が蓄積すると、高血圧・高血糖・コレステロール高値などの生活習慣病を引き起こし、動脈硬化のリスクが高まります。自覚がないまま進行すると脳や心臓の病気になり、透析が必要になることもあります。



あなたの体は代えが利きません

部品を交換できる車でも定期的に車検が必要です。代えの利かない私たちの体こそ、毎年健診で状態を確認する必要があります。

本市は、全国と比べてメタボリックシンドロームの人が多い市です。自覚症状なく生活習慣病が進行しているかもしれません。健康を維持するためにも、健診で体の状態を把握しましょう！



令和8年度の市民健診の申し込みは
2月から始まります！
ぜひ申し込んでください！

腹部超音波検診は30歳以上の市民であれば誰でも受けられます。この機会に、メタボの始まりと言われる脂肪肝を確認しましょう！

申し込みについて詳しくは、広報ひとよし2月号をご覧ください。

問合せ 健康増進係

問合せ 市保健センター（☎24-8420、☎24-8010）